



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月2日

上場会社名 ローム株式会社

上場取引所 東

コード番号 6963 URL <https://www.rohm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 CEO (氏名) 松本 功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CSO 兼 経理本部長

(氏名) 伊野 和英 TEL 075-311-2121

四半期報告書提出予定日 2023年2月7日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	390,158	15.4	75,414	34.2	90,528	46.5	67,947	40.3
2022年3月期第3四半期	338,188	28.3	56,201	129.7	61,808	191.4	48,417	156.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 74,880百万円 (22.5%) 2022年3月期第3四半期 61,111百万円 (42.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	692.35	671.16
2022年3月期第3四半期	493.37	477.97

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,082,717	894,637	82.6
2022年3月期	1,029,132	840,353	81.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 894,104百万円 2022年3月期 839,817百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	75.00	—	110.00	185.00
2023年3月期	—	100.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	15.0	90,000	25.9	105,000	27.2	80,000	19.7	815.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	103,000,000 株	2022年3月期	103,000,000 株
2023年3月期3Q	4,857,130 株	2022年3月期	4,861,656 株
2023年3月期3Q	98,141,254 株	2022年3月期3Q	98,137,318 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書) .....	6
(四半期連結包括利益計算書) .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

※ 補足説明資料としまして、「2023年3月期 第3四半期決算概要」を別途添付しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

#### 業績の全般的概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国におけるコロナ対策やロシアによるウクライナ侵攻、米国と欧州を中心としたインフレーションの抑制に向けた金融引き締めの影響もあり、減速感がますます強まってきました。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車関連市場は依然として一部の半導体不足が継続しており、先行きが不透明ではありますが、脱炭素社会に向けた電動化・電装化への需要増が追い風となり、全体としては順調に推移しました。また、産業機器関連市場でも各国における工場の生産能力増強・自動化・デジタル化投資の拡大などにより順調に推移しました。一方、民生機器関連市場や通信機器関連市場、コンピュータ&ストレージ市場は市況の悪化による需要の減衰が続いております。

このような経営環境の中、中長期的に成長が期待される自動車関連市場や産業機器関連市場などに向けてロームグループが強みを持つ「パワー」、「アナログ」及び「汎用デバイス」の新製品・新技術の開発を進め、お客様の省エネ・小型化に広く貢献できるトータルソリューションでの提案を推進しました。

生産面においても、継続して全社最適化を進めるとともに、「モノづくり改革」による省人化・自動化ラインの構築を推し進めました。また、更なる受注に対応するための生産能力増強や生産性向上を進めるなど、お客様への安定供給体制の向上に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は自動車関連市場及び産業機器関連市場を中心に増加し、前年同期比15.4%増の3,901億5千8百万円、営業利益は前年同期比34.2%増の754億1千4百万円となりました。当第3四半期連結累計期間の営業利益率は前第3四半期連結累計期間の16.6%から19.3%に上昇しました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、為替差益の増加により、前年同期比46.5%増の905億2千8百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比40.3%増の679億4千7百万円となりました。

またロームグループで重視している経営指標について、当第3四半期連結累計期間のEBITDA（※）は前年同期比34.7%増の1,152億9千9百万円となりました。

※ EBITDA (Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて求めたもの。グローバル企業などの収益力を比較する際によく利用される指標。ロームグループでは簡易的に営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

#### 業績のセグメント別概況

##### <LSI>

市場別では、自動車関連市場向けで、ADASやインフォテインメント向けの電源ICなどが好調であったことに加え、電動車の普及加速に伴いパワートレイン向けに絶縁ゲートドライバICなどの高付加価値商品が順調に売上を伸ばしました。また、産業機器関連市場向けでは、活況な設備投資により引き続き堅調に推移し、コンピュータ&ストレージ市場ではSSD向けの電源ICがシェアアップしたことにより売上を伸ばしました。

これらに加え円安進行もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,785億7千8百万円（前年同期比16.6%増）、セグメント利益は401億3千2百万円（前年同期比60.3%増）となりました。

##### <半導体素子>

事業セグメント別では、トランジスタ、ダイオード、パワーデバイスにつきましては、自動車関連市場のxEV向けを中心に好調に推移したことに加え、産業機器関連市場でも太陽光発電向けなどが堅調に推移しました。また、発光ダイオードにつきましては、民生機器関連市場向けで、アミューズメント関連を中心に売上が増加しましたが、半導体レーザーにつきましては、産業機器関連市場向け等で売上が減少しました。

これらに加え円安進行もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,633億9千2百万円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益は281億9千6百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

<モジュール>

事業セグメント別では、プリントヘッドにつきましては、プリンタ向けなどで売上が増加し、オプティカルモジュールにつきましては、通信機器向けなどでセンサモジュールの売上が増加しました。

これらに加え円安進行もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は265億6千5百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は40億1千6百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

<その他>

事業セグメント別では、抵抗器につきましては、自動車関連市場向けに高電力抵抗・シャント抵抗等の高信頼品が好調に推移しました。

これらに加え円安進行もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は216億2千1百万円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益は41億5千9百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

上記「業績のセグメント別概況」の記載は、外部顧客に対するものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ535億8千5百万円増加し、1兆827億1千7百万円となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産が399億5千9百万円、棚卸資産が273億7千5百万円、受取手形及び売掛金が83億4千9百万円、現金及び預金が78億2千9百万円、それぞれ増加した一方、有価証券が240億4百万円、投資有価証券が151億3千1百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億9千9百万円減少し、1,880億7千9百万円となりました。主な要因といたしましては、未払金が41億9千5百万円、繰延税金負債が40億6千7百万円、電子記録債務が8億9千万円、それぞれ減少した一方、未払法人税等が70億9千9百万円、流動負債のその他が19億5千8百万円（うち設備関係電子記録債務が31億7千6百万円）、それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ542億8千4百万円増加し、8,946億3千7百万円となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により株主資本が473億7千9百万円、為替換算調整勘定が157億8千1百万円、それぞれ増加した一方、その他有価証券評価差額金が92億2千5百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.6%から82.6%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な利上げ、加えて不安定な為替相場などにより、不透明な状況が続くものと思われまます。エレクトロニクス市場においては、気候変動対策や脱炭素化社会に向けた省エネルギー化の一層の促進やライフスタイルの変化等に加えて、各国における工場の自動化・デジタル化投資などは順調に推移していくものと思われまますが、民生機器関連市場、コンピュータ&ストレージ市場の需要の落ち込みが悪影響を与える懸念があります。

現時点では昨年11月時点での業績予想に対し順調に推移している状況ですが、第4四半期のエレクトロニクス市場についてはエネルギーや資材価格の高騰等による材料費や経費のコストアップリスク、製造に必要な材料調達における地政学リスク、新型コロナウイルス感染症の再流行リスク、人材確保リスク等があり、予断を許さない状況が続くものと思われまます。今後、既に公表した業績予想に対する変更が必要と判断される際には、改めて業績予想の修正を行います。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	293,144	300,973
受取手形及び売掛金	100,151	108,500
電子記録債権	8,644	10,351
有価証券	49,256	25,252
商品及び製品	39,678	48,545
仕掛品	61,675	73,083
原材料及び貯蔵品	53,135	60,235
未収還付法人税等	1,026	2,158
その他	13,342	16,233
貸倒引当金	△49	△52
流動資産合計	620,004	645,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	280,843	295,079
機械装置及び運搬具	664,295	725,731
工具、器具及び備品	57,176	59,646
土地	68,421	68,127
建設仮勘定	41,760	51,198
その他	8,543	8,964
減価償却累計額	△828,950	△876,698
有形固定資産合計	292,090	332,049
無形固定資産		
のれん	795	571
その他	4,471	4,382
無形固定資産合計	5,266	4,954
投資その他の資産		
投資有価証券	87,506	72,375
退職給付に係る資産	3,176	3,239
繰延税金資産	11,310	11,589
その他	9,846	13,297
貸倒引当金	△69	△70
投資その他の資産合計	111,770	100,432
固定資産合計	409,127	437,435
資産合計	1,029,132	1,082,717

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,105	17,582
電子記録債務	4,929	4,039
未払金	36,131	31,936
未払法人税等	11,472	18,571
その他	35,237	37,195
流動負債合計	105,877	109,326
固定負債		
社債	40,536	40,385
繰延税金負債	28,983	24,916
退職給付に係る負債	11,092	11,488
その他	2,289	1,962
固定負債合計	82,901	78,753
負債合計	188,778	188,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,411	102,416
利益剰余金	661,386	708,723
自己株式	△39,915	△39,879
株主資本合計	810,851	858,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,314	30,089
為替換算調整勘定	△8,294	7,487
退職給付に係る調整累計額	△2,054	△1,702
その他の包括利益累計額合計	28,965	35,874
非支配株主持分	536	532
純資産合計	840,353	894,637
負債純資産合計	1,029,132	1,082,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	338,188	390,158
売上原価	219,303	240,747
売上総利益	118,885	149,411
販売費及び一般管理費	62,683	73,996
営業利益	56,201	75,414
営業外収益		
受取利息	858	2,206
受取配当金	808	922
為替差益	3,678	11,041
その他	567	1,089
営業外収益合計	5,912	15,259
営業外費用		
支払利息	91	100
和解金	180	15
その他	34	29
営業外費用合計	305	146
経常利益	61,808	90,528
特別利益		
固定資産売却益	559	1,281
投資有価証券売却益	359	—
補助金収入	100	—
特別利益合計	1,018	1,281
特別損失		
固定資産売却損	24	18
固定資産廃棄損	403	177
固定資産圧縮損	100	—
減損損失	255	8
投資有価証券評価損	—	318
特別損失合計	782	522
税金等調整前四半期純利益	62,044	91,286
法人税、住民税及び事業税	10,109	23,527
法人税等調整額	3,498	△208
法人税等合計	13,608	23,319
四半期純利益	48,436	67,967
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,417	67,947



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	48,436	67,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,478	△9,225
為替換算調整勘定	6,609	15,787
退職給付に係る調整額	586	351
その他の包括利益合計	12,674	6,913
四半期包括利益	61,111	74,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,098	74,856
非支配株主に係る四半期包括利益	12	24

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売上高								
国内	60,115	42,222	5,289	107,627	3,486	111,113	—	111,113
アジア	81,306	77,506	15,997	174,810	13,487	188,297	—	188,297
アメリカ	6,154	7,047	873	14,076	1,697	15,773	—	15,773
ヨーロッパ	5,541	13,506	1,969	21,016	1,987	23,003	—	23,003
顧客との契約から 生じる収益	153,117	140,282	24,130	317,530	20,658	338,188	—	338,188
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	153,117	140,282	24,130	317,530	20,658	338,188	—	338,188
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,966	2,907	21	4,894	53	4,947	△4,947	—
計	155,084	143,189	24,151	322,425	20,711	343,136	△4,947	338,188
セグメント利益	25,034	24,675	3,411	53,120	3,893	57,014	△812	56,201

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△812百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△537百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）△274百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュー ル	計				
売上高								
国内	62,229	43,825	6,121	112,175	3,369	115,545	—	115,545
アジア	101,477	90,493	17,054	209,025	12,457	221,483	—	221,483
アメリカ	8,423	8,742	1,201	18,367	3,415	21,782	—	21,782
ヨーロッパ	6,448	20,331	2,187	28,967	2,379	31,346	—	31,346
顧客との契約から 生じる収益	178,578	163,392	26,565	368,536	21,621	390,158	—	390,158
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	178,578	163,392	26,565	368,536	21,621	390,158	—	390,158
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,168	2,653	—	4,821	31	4,852	△4,852	—
計	180,746	166,046	26,565	373,358	21,652	395,011	△4,852	390,158
セグメント利益	40,132	28,196	4,016	72,344	4,159	76,504	△1,090	75,414

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,090百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△813百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）△276百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ローム株式会社 2023年3月期 第3四半期決算概要

(2022年4月1日から2022年12月31日まで)

2023年2月2日

連結業績		(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)								
		23/3期実績		22/3期実績		対前年同期増減		22/3期実績	23/3期計画 (注)1	
		第3四半期 累計期間		第3四半期 累計期間		額 率		通期	通期	対前期 増減率
売 上 高	百万円	390,158	338,188	+51,970	+15.4%	452,124	520,000	+15.0%		
売 上 原 価	百万円	240,747	219,303	+21,444	+9.8%	289,803	330,600			
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	百万円	73,996	62,683	+11,313	+18.0%	90,841	99,400			
営 業 利 益	百万円	75,414	56,201	+19,213	+34.2%	71,479	90,000	+25.9%		
		(19.3%)	(16.6%)	(+2.7%)		(15.8%)	(17.3%)			
経 常 利 益	百万円	90,528	61,808	+28,720	+46.5%	82,551	105,000	+27.2%		
		(23.2%)	(18.3%)	(+4.9%)		(18.3%)	(20.2%)			
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	百万円	67,947	48,417	+19,530	+40.3%	66,827	80,000	+19.7%		
		(17.4%)	(14.3%)	(+3.1%)		(14.8%)	(15.4%)			
( )内は売上高比率										
1 株 当 たり 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	円	692.35	493.37	+198.98	+40.3%	680.62	815.15	+19.8%		
自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	%					8.3				
総 資 産 当 期 純 利 益 率	%					6.8				
1 株 当 たり 純 資 産	円	9,110.23	8,308.57	+801.66	+9.6%	8,557.15				
E B I T D A (注)2	百万円	115,299	85,612	+29,687	+34.7%	113,507	148,500	+30.8%		
設 備 投 資 額	百万円	78,733	46,698	+32,035	+68.6%	79,985	120,000	+50.0%		
減 価 償 却 額	百万円	39,885	29,411	+10,474	+35.6%	42,027	58,500	+39.2%		
研 究 開 発 費	百万円	30,856	25,169	+5,687	+22.6%	36,126	40,100	+11.0%		
グ ル ー プ 従 業 員 数	人	23,965	23,403	+562	+2.4%	23,401				
為 替 レ ー ト (US\$ 期 中 平 均 レ ー ト)	円/US\$	135.40	111.38	+24.02	+21.6%	112.86	134.17			

(注) 1.計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.営業利益に減価償却費を加えて算出しております。